

## 「一生懸命していれば 今の悩みは未来の自分が教えてくれる」

（株）損龍 代表取締役 まつおか 松岡 りゅうすけ 隆介



住 所: 加古川市加古川町南備後51番地の7  
T E L: 079-422-8087  
営業内容: ケアマネ業、訪問看護業、デイサービス業、  
就労支援事業、菓子販売業、遺品生前整理業

私は、二十二の時に理学療法士として加古川市に起用され、配属先は健康福祉課で母子手帳の発行、健康診断、障害者のリハビリと住宅改修の申請業務に携わる仕事をしていました。

行政の仕事はどうしても公平性と予算の観点からどこかで線を引かなくてはいけなかったのが納得できず、二十六年の時に今の介護保険制度が始まり、当時知り合った人達と共同経営で会社を立ち上げま

した。

兵庫県で初めて北欧から輸入したりハビリ機器を取り入れ、様々な研修や資格を取って、脳卒中の方向けのトレーニングメニューを考案し「誰もまねできないリハビリができるデイサービスを作る」という思いを実現すべく駆け出しました。

五年経った頃、「今の店舗の定員を倍にして、そのあと神戸で事業展開してほしい」という多店舗展開の話が出ました。今思えば、会社を大きくするうえでは必要なアクションだったと思いますが、当時の私には大きな葛藤が生じました。人数を増やせば私の治療の質を下げなければいけない。これまでもずつと関わってきたお客様と離れてしまうことはできない。

私は「何とか加古川で二号店をやらせてくれないか」と直談判しましたが、当時のトップの答えはノーでした。そうして私は三十の時に今の会社を起業しました。

「誰もが安心して暮らせる社会」その一端を自分ができることで担いたい。その使命を果たすことが私の目的です。

目の前のお客様が困っていることに向き合い、自分ができることを提供し、対応できないことも学びと捉え、さらに新しい知識や技術を取り入れて自らをブラッシュアップさせていく。それ

をとことん追求した結果、時折り社員との衝突もありました。

七年目に業績が3分の1に下がり、会社が大きく傾き、役員報酬を0にした時もありました。右腕だった社員を病気で亡くし、それで会社が傾いたこともありました。このような試練を積み重ねてきたことで、伝えなきゃいけないテーマが整理でき、その伝える方法に幅をかす意識を持てるようになりました。おかげで新しい世代の社員とも向き合うことができるようになってきています。

その時は大変だと感じていたことでも、一生懸命していれば色々な知恵が出来ます。それでも決断しづらい局面も出てきます。そんな時に、周りの人や出会った人たちの知恵に助けられることもありました。そして、後から「あの時のあれはそういうことだったのか」と、ふと思えることが増えました。

不器用にも正直に、自分の信じる道を前を向いてずつと進んでいく。その力がこれからも大切だと感じています。それは時には不安になったり辛くなったりする時もあります。

でも、そんな時こう思います。  
「一生懸命していれば今の悩みは未来の自分が教えてくれる」

私はこれからも加古川で一生懸命に事業を続けていきたいと思っています。